

新連載『全海運所属組合の横顔』について

会長 藤井 肇



この度、ホームページで『全海運所属組合の横顔』を連載することといたしました。

全海運は平成 29 年（2017）10 月に起源である全国機帆船組合連合会の創立以来、80 周年を迎えます。これまでも全海運では 25 年史、50 年史の中で会員 18 海運組合及び地区海運組合殿の紹介をさせていただいてまいりましたが、これまで海運組合の存在は、事業者の皆様にとって非常に重要な役割を担って来られました。船腹調整事業から暫定措置事業へ移行し、そして今、半世紀を超える国内唯一のカルテル事業もあと 8 年で終息する予定です。内航海運業界では「内航海運の活性化に向けた今後の方向性検討会」において、将来の内航海運のあるべき姿を模索しており、「海運組合」は次世代を担う若手経営者にとっても「必要且つ重要な存在」と写っております。

こうした中で、全海運では会員組合及び地区海運組合殿の設立目的・活動の変遷等を後世に伝えることも重要であるとの認識から、創立 80 周年を機にホームページを活用してそのご紹介を企画したものです。

この連載では、会員組合及び地区組合を紹介するだけでなく、船どころとしての地域の概要や船にまつわる様々な伝承、風俗なども幅広く取り上げてまいりたいと思っております。

今後とも組合員の皆様には、ホームページを交流の場としてご活用いただきますよう宜しくお願いいたしたいと存じます。